

ID: 患者ID

新規作成日: 新規作成日

氏名: 氏名

日付	1日前		手術当日・手術前	手術当日・手術後	
経過	1日前		手術当日・手術前	手術当日・手術後	
目標	転倒予防行動ができる 手術について理解できる		発熱コントロールについて理解できる	疼痛がない 創部に問題がない 麻酔から覚醒する	
注射	入院日はありません。		手術前に点滴が1本あります 8:30開始の場合は手術室で実施します。それ以降の方は午前中に点滴を開始します。 手術室で抗生剤を1回実施します	点滴は継続となります。 帰室6時間後に抗生剤があります。点滴は翌日の朝10時頃まで行っています。	
投薬	持参の薬は内容を変更する事があります。その際は説明します。 持参薬は手術前に一度回収します		基本的に薬は中止となります 麻酔科医師が決めた薬がある場合のみ服用します	内服は出来ません。 痛み止めは適宜点滴などで対応していきます。	
検査					
放射線					
処置	入院時診察室で診察があります 手術時間などの説明があります 手の甲・首元に手術部位のマーキングを行います		血栓予防のストッキングを手術前に履きます  手術開始時間: 時 分 8時30分以外の場合は開始時間が前後する場合があります。	弾性ストッキングは歩行するまでは脱がないようにしてください。 歩行するまでは外さないようにお願いします。  基本は手術の翌日まで酸素を吸います。 時間が変更となることもあります。	
	入院時、身長・体重を測定します 血栓予防のために弾性ストッキングのサイズを測ります。		手術用の服に着替えます 上半身は何も身に付けない状態で手術着を着用してください 下着やズボン履いていてください	血栓を予防するために40歳以上の方は両下肢に器械を着用します。	
食事	常食または治療食です 夜の9時からは飲食できません		飲食出来ません うがいはできます	絶飲食になります。	
排泄	トイレ歩行は可能です。毎朝、前日のお小水とお通じの回数を伺います。		トイレ歩行可能です 手術時間30分前にトイレで排泄を済ましておいてください	手術後お小水の管が入ってくる場合があります。お小水の色が変わりますが薬剤の影響なので心配はありません。お小水の管が入らない場合は原則ベッド上で排泄になります。その際は看護師にお知らせください。	
清潔	手術前に入浴できますので看護師に声をかけてください 時間は看護師とご相談ください。		朝、歯磨きを念入りに行ってください		
活動	安静度	安静度は特に制限はありません 入院中の外出、外泊は基本的にできません		手術室までは歩いていきます ご家族も一緒に手術室前まで行きます。その後は病棟のデイルームまたは、お部屋でお待ちください	手術後はベッド上安静です。横向きは可能です。 術後翌日までは枕は使用しないでください 安静時間が終わってトイレ歩行可能が可能になった場合も麻酔の影響を考慮看護師が付き添うので、必ずナースコールを押してください
	リハビリ	リハビリテーションの予定はありません			
看護ケア	入院時と午後、検温（熱・脈・呼吸・血圧）を測定します		手術前に、熱、脈、呼吸、血圧を測定します	手術後は手術帰室後、1・3・6時間後に、熱、脈、呼吸、血圧を測定します。それ以降は適宜実施します	
	・入院生活時から退院までの流れを説明します。 （入院生活の御案内のパンフレットを確認してください） ・手術オリエンテーションを手術室看護師と病棟看護師が実施します。 ・ネームバンド、ビクトグラムの説明と装着をします ・転倒転落危険度カードを表示します。また、環境の変化によって転倒の危険が増すという説明のビデオを見て頂きます ・貴重品はセーフティボックスを使用し鍵は必ず手首に装着してください ・ナースコールの説明をします ・入院生活で気を付けていただきたい9箇条について説明します ・ティッシュ1箱を準備してください ・パジャマのレンタルをされない場合は手術後浴衣とバスタオルをご用意ください ・麻酔科医の診察があります（手術の合間に来ますので、時間は未定です） （※手術の際にT字帯を使用した場合は、使用後に売店で購入をいただき病棟へ返却となりますのでご承知置きください。）		・ご家族は病棟デイルームか病室でお待ちください 病棟を離れる際には必ず看護師に連絡先（確実につながるところ）をお知らせください 手術終了時、ご家族と一緒に手術室まで迎えに行きます ご家族は手術室の前で医師から話を聞いていただきます	手術が終わり次第、看護師よりお声をおかけします。 手術終了後に医師より手術についての説明があります。  のどを適宜冷やします。安全確保のために環境を整えて行きます 痛みその他辛い事がありましたら看護師に言ってください 止血剤入りの点滴があります。	
指導	持参薬のある方は、看護師へ伝えてください。また、内服を自己管理されている方は入院時にチェックリストをお渡しします。薬を飲んだらチェックリストに○をつけ、カンは所定のケースへ入れてください 手術日にご家族の来院が出来ない方は予め医師、看護師へお知らせください		貴金属類・義歯・コンタクトレンズなどは外してください。 貴重品や金庫の鍵は家族の方に渡してください ご家族は手術開始の30分前には病棟にいらしてください	*こんな時は我慢せず教えてください。 ・呼吸がくるしいとき ・出血したとき ・点滴の部位が痛かったとき ・腰痛など体がつらいとき ・傷が痛いとき ・吐気があるとき 鎮痛剤を使用できるときは使用していただきます *口内に溜まる唾液は飲み込まずティッシュにお取りください ※強い咳込みは出血のリスクがありますので注意してください	

ID: 患者ID

新規作成日: 新規作成日

氏名: 氏名

日付						
経過	1日後	2日後	3日後	4日後	5日後	6日後
目標	転倒予防行動ができる 疼痛がない 創部に問題がない 栄養管理について理解できる					
				発熱がない		
注射	食事の摂取量より、点滴が追加されることがあります。					
投薬	 痛み止めの薬が処方されます。持参のお薬も再開となります 痛みが強く食事が摂取できない場合は食前に内服してください					
検査	 朝食前に採血があります					
放射線						
処置	 弾性ストッキングは歩行するまでは脱がないようにしてください。 歩行するまでは外さないようにお願いします。		 診察がある場合はB棟7階診察室にて実施します			 朝、診察をしてからの退院となります。
	 基本は手術の翌日まで酸素を吸います。 時間が変更となることもあります。					
	 血栓を予防するために40歳以上の方は両下肢に器械を着用します。					
食事	 診察があります 診察時は看護師が声をかけます（口の中の抜糸をします）					
	 朝から流動食が出ます。 お腹の音やガスがあるか確認します。それまでは飲んだり食べたりしないようにお願いします。		 朝から三分粥が出ます	 五分粥がでます。	 5分粥がでます	 朝より全粥がでます。
排泄	 朝にお小水の管を抜きます トイレ歩行が可能です					
清潔	 入浴はできませんので温かいタオルをお渡しします。 辛いときは看護師がお手伝いします。		 シャワー浴が可能となります。時間は担当の看護師とご相談ください。 熱いお湯でのシャワーや長湯は出血のリスクを助長させるため注意してください。			
活動	 歩行可能です 初歩行時は必ず看護師が確認します その他で起き上がりづらい時は看護師にお知らせください 外出、外泊はできません		 院内フリー（外出・外泊禁止）			院内フリー ・退院予定 9時半
	リハビリ					
看護ケア	 起床時、午前、午後、寝る前に検温があります			 午前、寝る前に検温があります（退院当日は朝のみ）		
	 内服を再開した際には、手術前と同様に行ってください （内服のからゴミのケースへの処理など）		 退院後の生活全般についての指導を行います（入浴、運動、食事、社会復帰など） ①入浴、洗髪について・・・長湯（40度以上の湯に30分以上つかる）は避けましょう。身体が温まり、血のめぐりが良くなることで出血を起こしやすくなります ②運動について・・・仕事復帰は仕事の内容などを主治医に相談し、決定しましょう ③食事について・・・固いものや刺激物はのどを通過する際、刺激となり手術をした部位から出血を起こしやすいので控えましょう。また、麺をすすすることも控えてください。吸う動作によって手術した部位に刺激が加わり出血を起こす原因となりますのどに痛みを感じたり出血を起こした場合は、すみやかに外来受診するようにしてください ①～③は次回の外来まで継続してください 退院処方のある方は薬剤師より退院前日か当日に説明があります 医師から処方された内服薬がある場合は退院後も指示通りに服用してください			
指導	 歯磨きは行なえますが、手術した部分に当たらないように注意して行ってください。 飲み込みにくさがあるときは、食事を変更したり、医師に相談しますので無理をしないで相談してください 退院までは、ストローの使用はのどに負担になったり再出血の原因にもなりますので使用はやめてください 咳払いも控えてください					